

## 45歳未満の教職員の皆様

## 麻しんについての注意

立命館保健センター

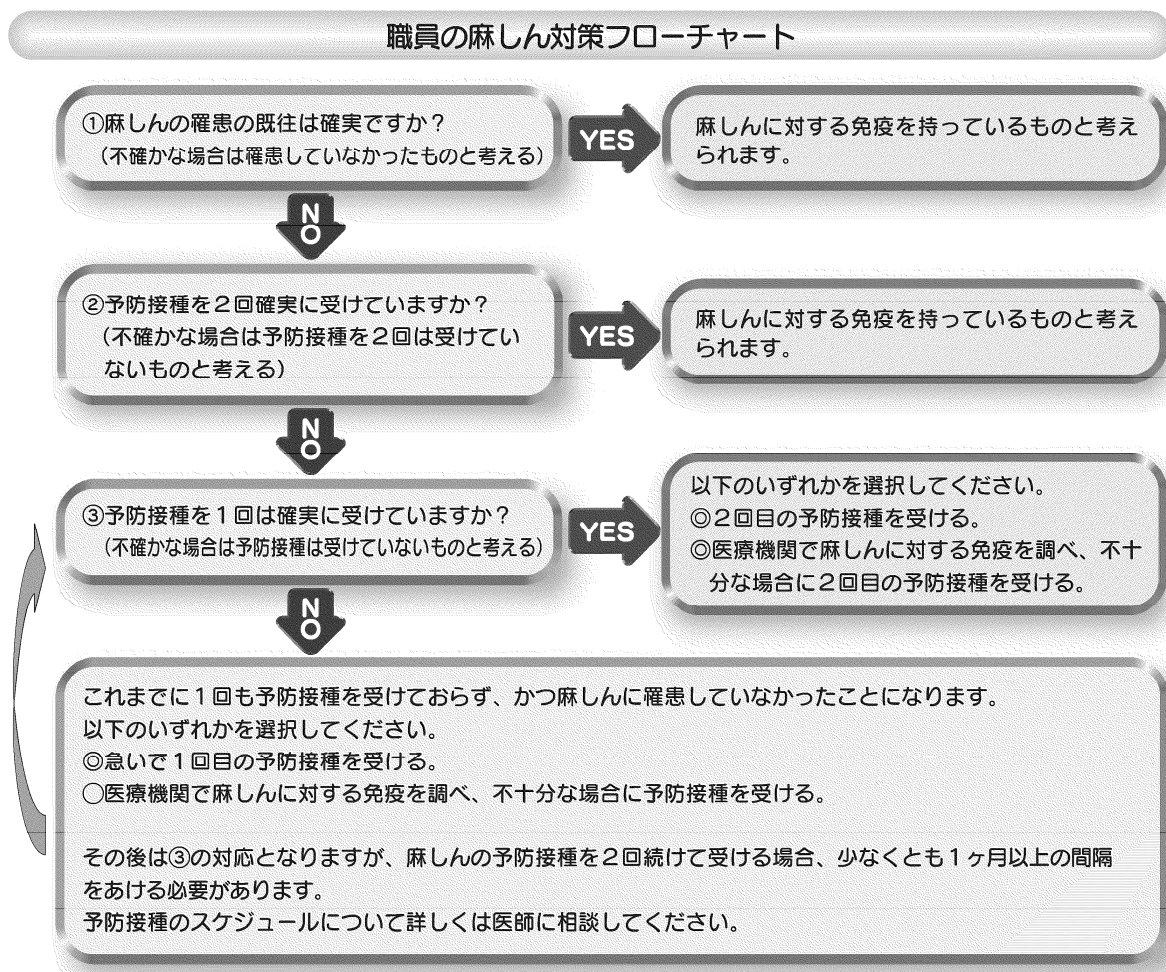
報道でもご存知の通り、本年8月宮崎県の中学教諭が麻しんに罹患し、家族や学校の同僚、生徒に感染が拡大する事例が生じています。文部科学省から各種学校に対して注意喚起の文章が出されています。20・40代の方で、まだ麻しん予防接種を受けていない方は、各自でワクチンを打って免疫をつけるようお願い致します。

2007年、わが国の大学や高校で麻しん（はしか）が大流行したことは記憶に新しいことと思います。2008年から今年度までの暫定5年間、12歳（MR3期）と18歳（MR4期）に対し定期予防接種が実施され、若い世代の麻しんへの免疫力は随分と高まり、その後は学校領域で大きな流行はみられていません。

成人では、50歳代以上の方は幼少時に麻しんに罹患して免疫を持っておられる方が多いのですが、45歳未満の方は、これまで麻しんに罹ったことがなく、予防接種も受けておられない方がおられます。20代～40代の方で麻しんに罹ったことがなく、予防接種を受けていないか、受けていても小児期に1回だけの方は免疫が低い可能性があります。該当される方は、是非、麻しん抗体価を調べて免疫の有無を確認して下さい。そして、抗体価が低い場合はワクチンを打つようにして下さい。なお、抗体価の確認なしに最初からワクチンを打たれても結構です。

抗体検査やワクチン接種は、保健センターでは実施していませんが市内の多くの医療機関で受けることが可能です。わからないことがありましたら、保健センターにお尋ね下さい。

## 職員の麻しん対策フローチャート



「学校における麻しん対策ガイドライン」より